

# 2012年3月 個人投資家様向け会社説明会（要旨）

## <会社概要 – フィールズとは？>

### ■会社概要

会社概要		主なグループ会社	
商号	フィールズ株式会社	パチンコ・パチスロ	㈱ロデオ
企業理念	すべての人に最高の余暇を	モバイル・オンライン	㈱フューチャースコープ
設立	1988年6月	モバイル・オンライン	アイビー・プロス㈱
資本金	7,948百万円	映像(アニメ)	ルーセント・ピクチャーズエンタテインメント㈱
上場市場	大阪証券取引所 JASDAQスタンダード(2767)	映像(CG)	㈱デジタル・フロンティア
上場年月	2003年3月	映像(知的財産)	㈱円谷プロダクション
従業員数	1,302名(連結)	コミック(知的財産)	㈱ヒーローズ
関連会社	連結対象企業 17社 持分法適用会社 6社		
事業内容	遊技機の企画・開発・販売 知的財産(IP)の企画・開発・販売		

Copyright 2012 FIELDS CORPORATION All rights reserved. 1

### ⇒説明会資料 1ページ

会社概要は左表の通りです。

当社は「すべての人に最高の余暇を」という企業理念を掲げ、すべての事業はこの企業理念の実現に向けた活動として取り組んでいます。

2011年12月末時点での連結従業員数は1,302名。個別では約700名で、連結グループ企業では17社約600名です。大きな成長の可能性を有する企業グループを形成しており、様々なエンタテインメント分野で事業を展開しています。

### ■上場来の連結業績推移

上場来の連結業績推移									
	2003年 3月期	2004年 3月期	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期
売上高	618	662	816	968	853	1,018	730	663	1,035
営業利益	67	118	120	123	89	131	19	81	131
経常利益	70	122	124	131	92	117	9	77	136
当期純利益	35	66	69	70	37	52	△14	32	75

■=過去最高実績 (単位: 億円)

■連結従業員数推移 (名)

Copyright 2012 FIELDS CORPORATION All rights reserved. 2

### ⇒説明会資料 2ページ

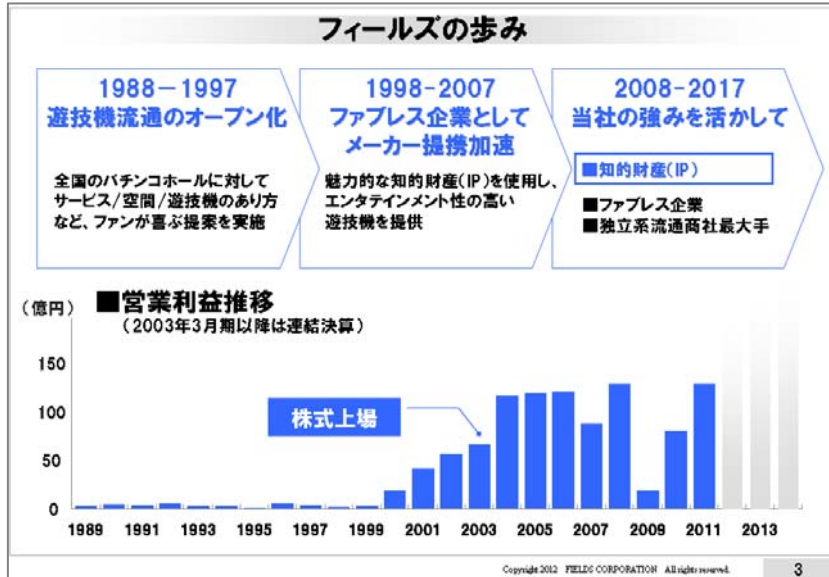
上場来の連結業績推移は左表の通りです。

営業利益をご覧いただくと、上場来、100億～150億円の中で概ね推移しています。今後もう一段高い水準に伸ばしていくために、知的財産（IP）を中核とした成長戦略を推進しています。

# 2012年3月 個人投資家様向け会社説明会（要旨）

## <会社概要 – フィールズとは？>

### ■ フィールズの歩み



### ⇒説明会資料 3ページ

当社の沿革、歩みをご紹介します。

当社はかねてより、パチンコを健全で快適なエンタテインメントに変えていきたいと考えています。

1988年に設立した当社は、最初の10年、流通という立場から当時の遊技機業界の慣習に変革をもたらし、その後、大手遊技機メーカーに匹敵する全国展開網を築いていくこととなります。

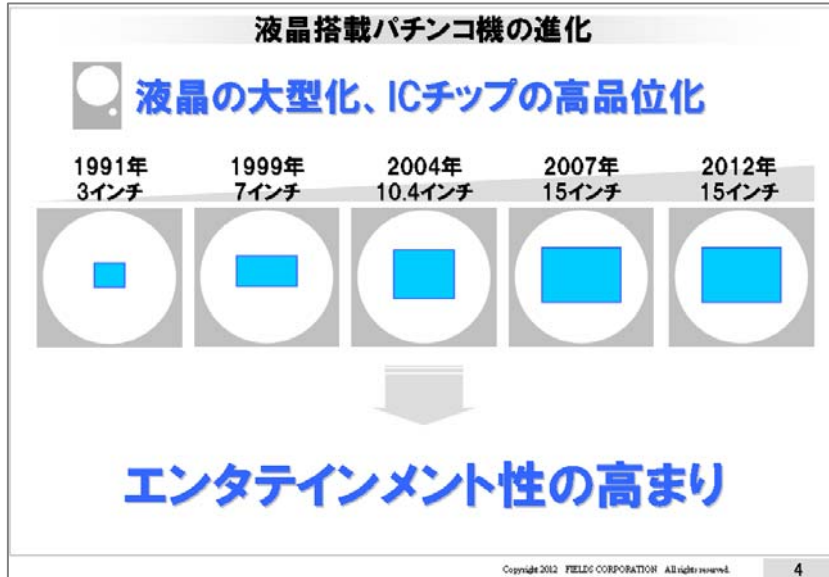
次の10年は、大手遊技機メーカーとの提携を加速し、知的財産（IP）を活用したエンタテインメント性の高い遊技機を市場投入することで大きく業績を拡大しました。

そして現在を含む次の10年は、当社の強みである知的財産（IP）を活用し、アニメや映画、ゲーム、グッズなど様々なエンタテインメント分野へ事業領域を拡大し、さらに上の利益水準を目指し、取り組みを形にしているところです。

# 2012年3月 個人投資家様向け会社説明会（要旨）

## <会社概要 – フィールズとは？>

### ■液晶搭載パチンコ機の進化

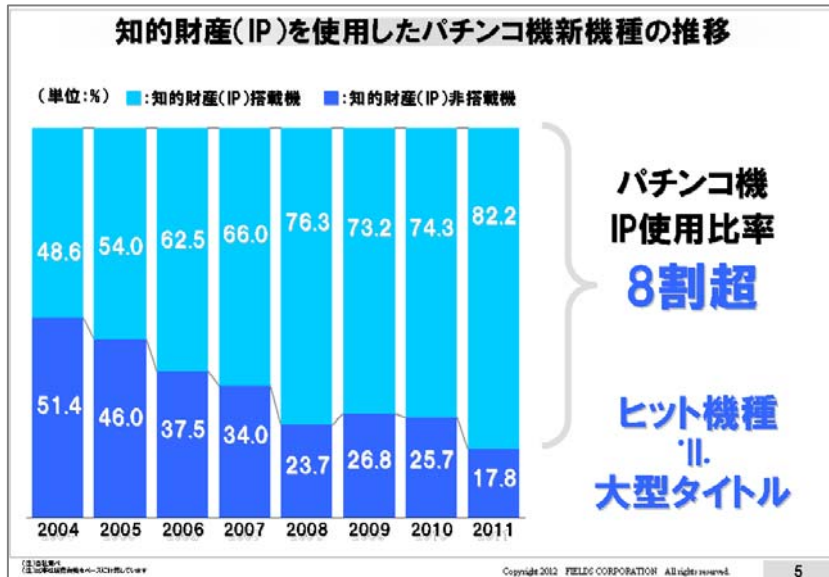


⇒説明会資料 4ページ

左図の通り、パチンコ機は1991年に液晶搭載機が登場して以来、液晶の大型化、高品位化が続いてきました。

こうしたハードウェアの進化を予見しつつ、当社は積極的に知的財産（IP）を活用した遊技機の提供に努め、2004年に発売した「CR新世紀エヴァンゲリオン」に代表されるように、エンタテインメント性の高い遊技機を生み出すことで、当社のパチンコを健全で快適なエンタテインメントに変えていきたいという想いの実現に近づいてきました。

### ■知的財産（IP）を使用したパチンコ機新機種の新機種の推移



⇒説明会資料 5ページ

左のグラフは、知的財産（IP）を活用したパチンコ機新機種の新機種の推移です。

知的財産（IP）を活用したパチンコ機新機種の新機種の割合は、2004年は約5割弱でしたが、2011年には約8割以上を占めるに至っています。

当社が積極的に推進した知的財産（IP）を搭載した遊技機は市場を席卷し、エンタテインメント化が促進されました。しかし一方で、知的財産（IP）の枯渇化という問題が生じるようになり、こうした状況に対する当社の戦略を後にご説明させていただきます。

# 2012年3月 個人投資家様向け会社説明会（要旨）

<会社概要 – フィールズとは？>

## ■当社の大型タイトル【例】

当社の大型タイトル【例】

		
パチンコ・パチスロ 『エヴァンゲリオン』 シリーズ	パチンコ 『浜崎あゆみ物語』	パチスロ 『モンスターハンター』
シリーズ累計販売台数: 約160万台	販売台数: 約8万台	販売中 -NOW ON SALE-
知的財産(IP) アニメ・映画 「エヴァンゲリオン」 シリーズ	知的財産(IP) アーティスト 「浜崎あゆみ」	知的財産(IP) ゲームソフト 「モンスターハンター」

©2012-2011  
©2012-2011  
©2012-2011 ACRORUM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED  
©2012-2011 Copyright 2012 FIELDS CORPORATION All rights reserved. 6

⇒説明会資料 6ページ

左図は当社が発表した知的財産（IP）を搭載した遊技機の一例です。

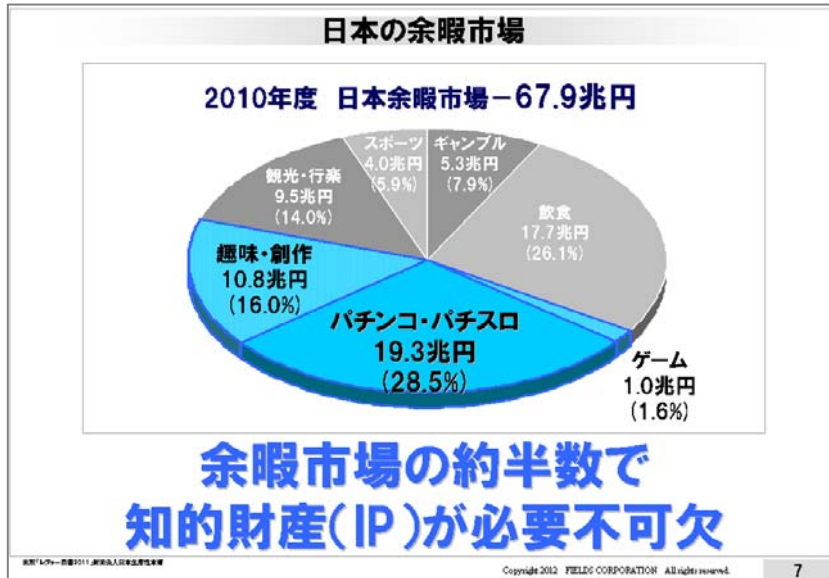
<パチンコ・パチスロ機に活用した知的財産（IP）例>

- アニメ・映画「エヴァンゲリオン」シリーズ
- アーティスト「浜崎あゆみ」
- ゲームソフト「モンスターハンター」

# 2012年3月 個人投資家様向け会社説明会（要旨）

<フィールドズの取り組み - 知的財産（IP） >

## ■日本の余暇市場



⇒説明会資料 7ページ

左のグラフは、日本の余暇市場を表したものです。

日本の余暇市場は約70兆円程度の巨大市場であり、ゲーム/パチンコ・パチスロ/趣味・創作分野など、余暇市場を見ても約半分の領域で知的財産（IP）が必要不可欠となっています。

## ■余暇市場の知的財産（IP）



⇒説明会資料 8ページ

これまでにご紹介した通り、パチンコ・パチスロ業界での知的財産（IP）の重要性が高まり、加速的に知的財産（IP）の消費が進んできました。

その結果、特にパチンコ・パチスロ機で使える知的財産（IP）は枯渇化しています。だからこそ、そうした知的財産（IP）が強く求められており、当社はこの流れをかねてから予見し、これに対応するため、様々な施策を展開しています。



# 2012年3月 個人投資家様向け会社説明会（要旨）

<フィールズの取り組み - 知的財産 (IP) >

## ■当社グループの知的財産 (IP) 【例】

当社グループの知的財産(IP)【例】

### フィールズグループ



 (株)円谷プロダクション  
 ルーセント・ピクチャーズ  
エンタテインメント(株)  
 (株)ヒーローズ

Copyright 2012. FEELDS CORPORATION All rights reserved. 9

⇒説明会資料 9ページ

左図は当社グループが取得・保有・創出している知的財産 (IP) の一例ですが、当社では、知的財産 (IP) が枯渇化する状況に対し、優良な知的財産 (IP) の獲得に向け、

「借りる」「買う」「創る」

という3つの戦略を推進しています。

## ■円谷プロダクション『ウルトラマン』

円谷プロダクション『ウルトラマン』

多様なメディアに 共通展開できる 知的財産(IP)



映画 
 パチンコ機  
パチスロ機 
 ショップ・グッズ 
 ソーシャル  
ネットワーク  
(SNS) 
 モバイル 

Copyright 2012. FEELDS CORPORATION All rights reserved. 10

⇒説明会資料 10ページ

当社の知的財産 (IP) 獲得に向けた戦略の展開で代表的なものが、左図の円谷プロダクションが保有する「ウルトラマン」です。

当社は2010年4月に円谷プロダクションをグループに迎え入れました。「ウルトラマン」は、日本を代表する知的財産 (IP) の一つで、映画、パチンコ・パチスロ、グッズ、携帯などのデジタルコンテンツなど、多様なメディアに共通展開できる優良な知的財産 (IP) です。

# 2012年3月 個人投資家様向け会社説明会（要旨）

## <フィールズの取り組み - 知的財産 (IP) >

### ■ 『月刊ヒーローズ』

『月刊ヒーローズ』



**知的財産(IP)創出のための  
コミック誌創刊**

HERO'S INC. All Rights Reserved. Copyright 2012. FIELDS CORPORATION All rights reserved. 11

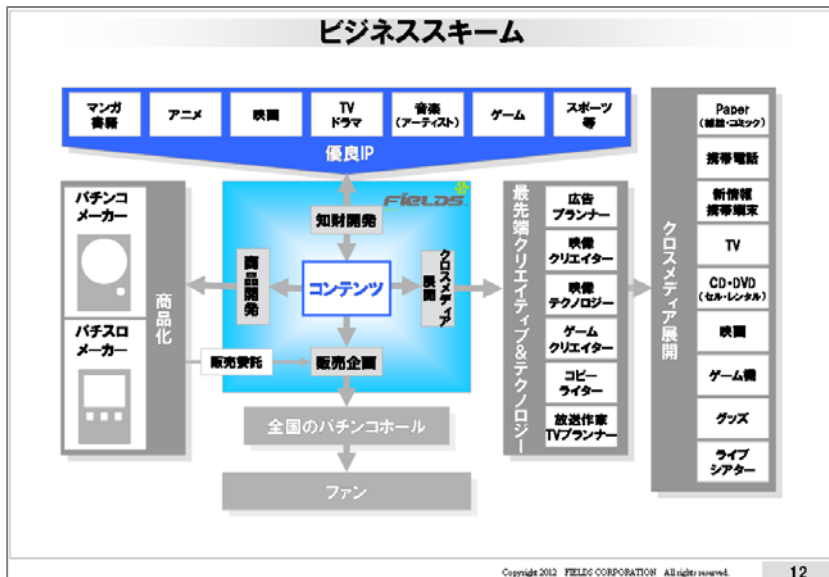
⇒説明会資料 11ページ

また、知的財産 (IP) を新しく「創る」ということに注力しています。現在、取り組みを推進しているのが左図の「月刊ヒーローズ」です。

小学館クリエイティブ社との協業により、2011年11月に「月刊ヒーローズ」というコミック誌を創刊し、知的財産 (IP) の創出に取り組んでいます。

本紙より創出した知的財産 (IP) をアニメや映画など、多様なメディアで活用していきたいと考えています。

### ■ ビジネススキーム



⇒説明会資料 12ページ

左図は当社のビジネススキームです。これまで、ご紹介させていただいた具体例を図にしたものです。

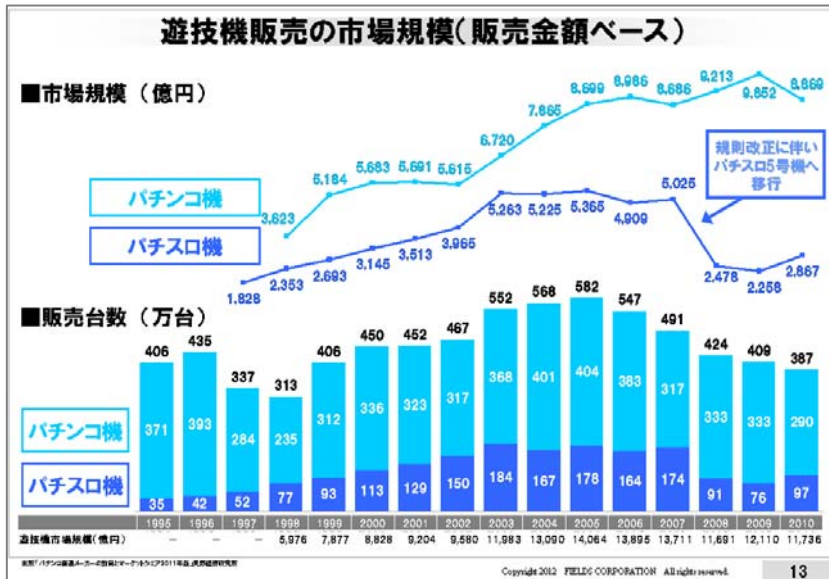
当社は、優良な知的財産 (IP) を取得・保有・創出し、企画開発を行い、多様なメディアに展開するというビジネススキームを構築しています。その過程では、最高のクリエイター、プロデューサーの皆様とネットワークを組み、最先端のテクノロジーを活用して、世の中に送り出そうとしています。

幅広いエンタテインメント分野に事業領域を拡大することで、大きな成長を実現していきます。

# 2012年3月 個人投資家様向け会社説明会（要旨）

## <パチンコ・パチスロ事業>

### ■遊技機の販売の市場規模（販売金額ベース）



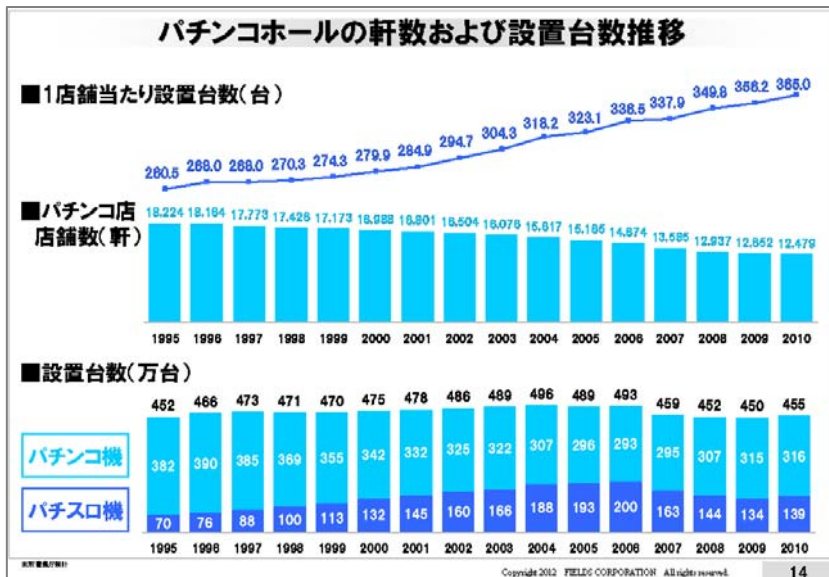
⇒説明会資料 13ページ

ここまで当社の歩みとこれからの成長戦略をご紹介させていただきましたが、ここから現在の収益の柱となっているパチンコ・パチスロ事業について、当社の強みをご紹介させていただきます。

左のグラフは遊技機販売の市場規模を表したものです。

遊技機販売市場は400～500万台/年規模で、遊技機市場は1.0～1.3兆円/年規模です。2007年のパチスロ規則改正によってパチスロ販売台数は一時的に減少しましたが、当期は100万台を超えることが確実視されており、力強い回復傾向にあります。

### ■パチンコホールの軒数および設置台数推移



⇒説明会資料 14ページ

パチンコホール軒数と遊技機の設置台数の推移は、左のグラフとなります。

上の折れ線グラフと棒グラフの関係を見ていただくと、パチンコホール軒数は1995年から2010年まで減少傾向にありますが、1店舗当たりの設置台数が大型化している傾向が分かります。

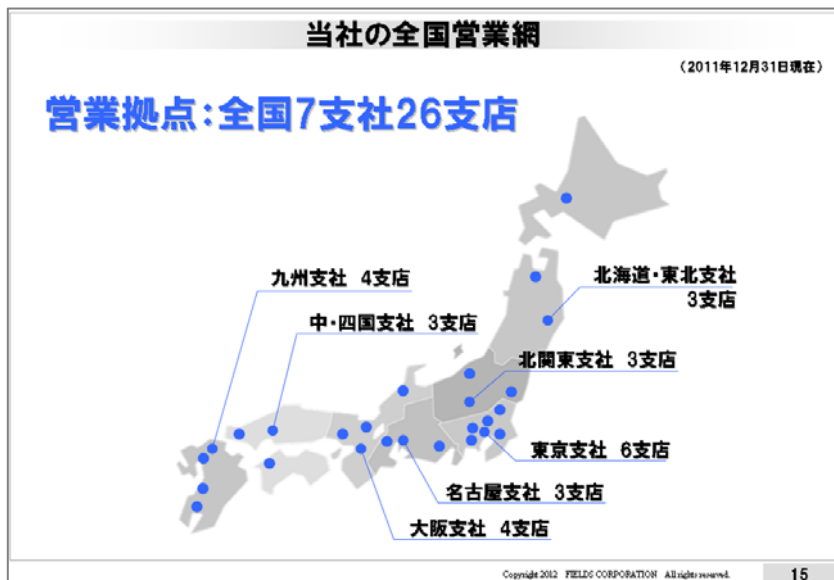
その結果、下の棒グラフの通り、遊技機の総設置台数は安定的に450万台規模で推移しています。



# 2012年3月 個人投資家様向け会社説明会（要旨）

## <パチンコ・パチスロ事業>

### ■ 当社の全国営業網



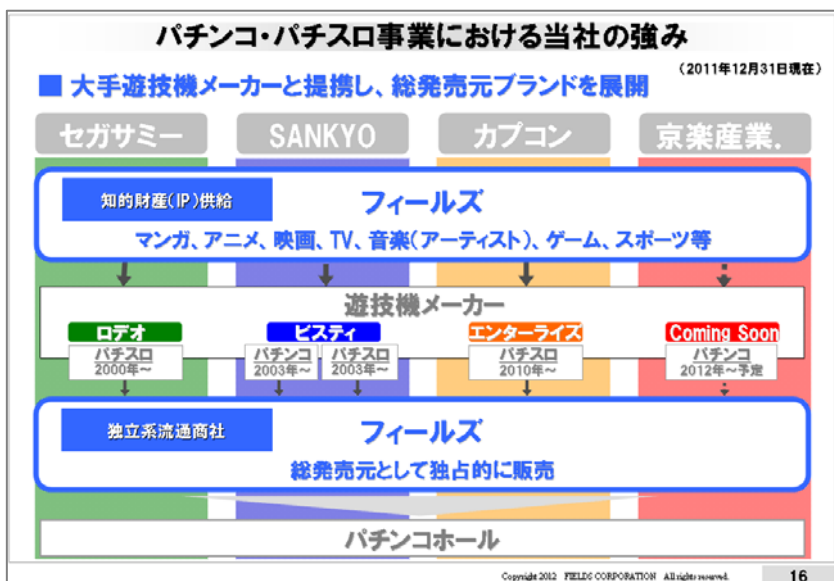
⇒説明会資料 15ページ

こうした市場環境の中にあって、当社は左図の通り、全国7支社26支店の営業拠点を設けています。

全国に300名以上の営業社員を配置し、大手遊技機メーカーに匹敵する全国営業網を構築しています。

当社は、独立系流通商社として独自のビジネスモデルを有し、全国展開している唯一の企業です。

### ■ パチンコ・パチスロ事業における当社の強み



⇒説明会資料 16ページ

左図は当社の流通モデルを図にしたものです。全国展開した営業網に加え、取り扱うパチンコ・パチスロ商品にも当社の強みがあります。

当社は、複数の大手遊技機メーカーと提携し、当社が獲得した知的財産 (IP) を活用して商品化された遊技機を、当社総発売元のブランドとしてパチンコホールへ販売しています。

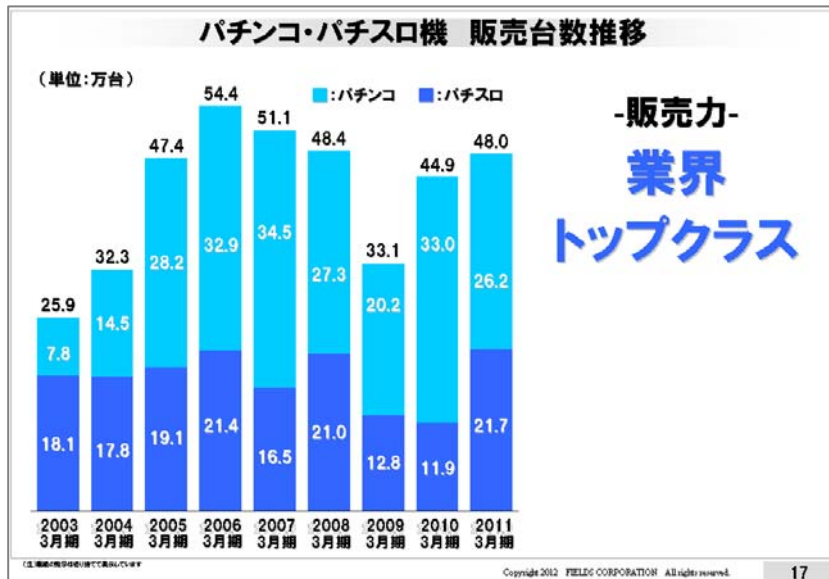
<各遊技機メーカーとの当社総発売元ブランド>

- セガサミー ⇒ ロデオ
- SANKYO ⇒ ビスティ
- カプコン ⇒ エンターライズ
- 京楽産業. ⇒ Coming Soon

# 2012年3月 個人投資家様向け会社説明会（要旨）

## <パチンコ・パチスロ事業>

### ■パチンコ・パチスロ機 販売台数推移



⇒説明会資料 17ページ

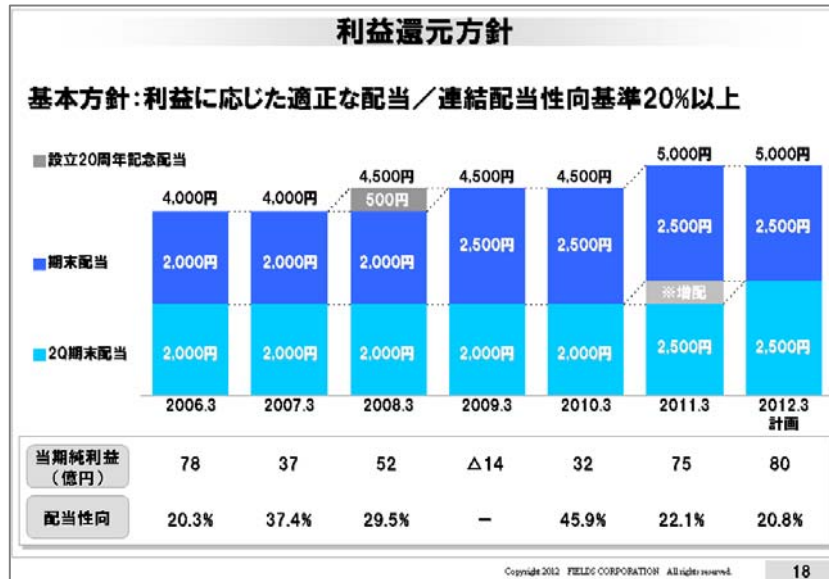
左のグラフは当社のパチンコ・パチスロ機販売台数推移です。

当社は全国営業網と独自ブランドの総発売元、商品力という強みを活かし、年間40万台以上を取り扱う業界トップクラスの販売力を有しています。

# 2012年3月 個人投資家様向け会社説明会（要旨）

## <利益還元>

### ■利益還元方針



⇒説明会資料 18ページ

配当実績は左グラフの通りです。

利益還元の基本方針は、利益に応じた適正な配当を行うこと、連結配当性向基準20%以上を掲げています。

2011年3月期は 5,000円の年間配当を実施し、2012年3月期も継続して年間5,000円を予定しています。

